



奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために

Rotary 国際ロータリー第2670地区
高松西ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF TAKAMATSU WEST



2022年 8 月 20日

Vol. 6

創 立 1969年4月14日
承 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広 報 委 員 会

Weekly Report 2021-2022

会長：低田陽介 / 幹事：江島繁夫 / 会長エレクト：遠藤直樹 / 副幹事：鈴木雅博 / S.A.A: 磯崎裕騎

今週のプログラム	第 2492 回	8 月 20 日
ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第 2491 回	8 月 6 日
フリートーク		
担当者	プログラム委員長	例会場 JRクレメントホテル高松



低田会長挨拶



江島幹事報告



米山留学生フェさんへ



お出迎え

低田会長挨拶

・ みなさんこんばんは。先週の例会で県の感染レベル6段階の色付きのものが、先週の金曜日で上から3番目にあがるのではないかと話していて、上から2番目になると例会は全て休会になるので難しくなるというお話だったのですが、現在既の上から2番目となっております。この月曜日から昨日まで江島幹事はじめ中條さん、他のロータリーの方と相談したり協議したりしました。火曜日の例会変更を見ると今週休むのは中央ロータリーさんと1つのみでした。その他のロータリーは例会を行うということでしたのでこちらも夜例会ですが開催しようということになりました。クレメントさんに依頼してパーティーションを有料みたいですが初めて付けました。当然ホテルなので消毒や検温をしっかり行って広い空間なので安全に出来るのではないかと思いますので今日は例会を開催させていただきます。ただ、できるだけ席は離れずにパーティーション通して、かつ手酌で万全の体制でやってもらえたらと思います。

私もこのように人前で話すのが非常に苦手ですが昨日生家さんから相談があってフリートークと生家さんの新入社員卓話ということで今日はお話頂きます。やはりこう話している中で誰を見たいのか、見た方が無表情だと非常に緊張

すると仰っていました。昨日原稿12、3分程のものを書いてこられたとの事で、かつボケも入れて皆さんが笑ってくれるようなお話だそうなので皆さんどうぞ無表情で聞いてあげてください。

連日オリンピックで盛り上がっている一方でコロナも増えてきている状況ではありますが、なんだかんだ1年ぶりに夜例会でお酒が入ります。盛り上がっては言えませんが、楽しい時間を過ごしていけたらと思います。今日もどうぞよろしくお願い致します。

江島幹事報告

- ・ ロータリー日本100年史、第I分区、第II分区合同IM記念DVDが届いております。宜しければ貸出致します。
- ・ 香川ののちの電話広報誌を回覧致しますのでよろしくお願致します。

出席報告

出席委員長：石川洋介

会員数 /	51名	出席規準数 /	49名
出席者数 /	21名	欠席者数 /	28名
出席率 /	42.86%	ビジー /	0名
最終出席率 /	7月16日	51.02% →	70.00%

8月20日 今日は何の日

今日生まれの有名人

3色信号設置の日/NHK創立記念日	1972年	梅宮アンナ	1934年	司葉子
1931年 初の三色灯の自動信号機設置	1964年	桐島かれん	1911年	灰田勝彦
1976年 こだま号に禁煙車登場	1955年	アグネス・チャン	1839年	高杉晋作

誕生花 ほうずき、花言葉は“欺瞞”

誕生石 トパーズ(topaz)、宝石言葉は“希望”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2021pdf/08-20.pdf>

事務所

高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

メイクアップ

8月 4日 2720 Japan O.K. ロータリーEクラブ 森

ニコニコBOX

今日まで生きてこれた事に感謝します。	朝倉
久しぶりに出席できました。	堀田
生家さん、今日はありがとうございました。野球部だけでなく例会でもお会いしましょう。	有友
村上さん、助かりました。ありがとうございました。	田中
おいしいお米頂きありがとうございました。	石川
誕生祝い、ありがとうございました。	吉岡
夜例会の開催についてうれしく思います。	大西
夜例会、有難うございます。普通に感謝。	岩本
遅刻・早退	2件

合計 10 件

本日の合計 34,000 円

2021-2022 年度累計 300,500 円

2021-2022 年度 理事会報告

日時	2021年8月11日(金)
場所	L I N Eにて実施
出席者	低田、辻、遠藤、島谷、田中、磯崎、有友、松下、青木、須田、江島、鈴木(オブザーバー)
議題	・ 8月20日(金)の例会は短縮例会にて行う 承認 弁当は持ち帰り 承認 スクール形式 承認 ・ 8月27日(金)の例会は休会とする 承認

新入会員卓話



生家堅次

こんばんは。緊張してお酒飲んでも全然酔いません。頑張ってお話しますのでよろしくお願ひいたします。

簡単に自己紹介をしたいと思います。昭和54年7月14日高松市で生家大和、明美の子供として生まれました。生まれも育ちも多肥町です。

小学校は多肥小学校に行きました。小学校の時から野球を始めました。一応レギュラーでしたがギリギリでした。上手くも下手でもない選手でした。チーム自体も強くも弱くもない感じでしたが、とても楽しく野球をしていました。中学校は龍雲中学校に行きました。小学校の流れで部活は野球部に入りました。一応またレギュラーでしたがチームでは7番目か8番目ぐらいのギリギリな実力だったと思います。私がいた頃の龍雲中学校野球部はそこそこ強くて高松市では準優勝、県でベスト8までいきました。中学2年生ぐらいから色気づきまして女子が大好きになり純粋な男女交際をはじめました。交際といっても手を繋いだり、高松祭りを見に行ったり、その程度でしたがこれが完全に色ボケの始まりだと思ひます。高校は名門の高松南高校に進学しました。高校になると大の女子好きが開花しまして野球をしたら良かったのですが、

坊主にするのがどうしても嫌で、本音はしたかったのですがソフトボールをしました。ソフトボール部は髪も切らなくていいし自由な部活だったので野球に似たソフトボール部にしました。髪の毛がロン毛で腰パンをしていました。ピアスも開けてよく生徒指導室に呼ばれていました。ちょうどその頃に木村拓哉が人気でえせキムタクが沢山いて、髪もロン毛でピアス開けていた人が沢山いたのですが僕もそのうちの1人で全然似合っていないのにそのような格好をしていました。今よりも当時はかなりしゅつとしていました。

そして高校2年生になると悪い友達がたくさんできてやさぐれはじめました。学校が終わると田町の交番の裏で何人かたむろしてずっとカフェオレを飲んでいました。喧嘩をするのをカッコいいと思ひて、殴り合いに憧れていてしていました。ちょうど近所にあった空手道場に通ひだして、習ひだしたら使ひたくなり、高校生の頃、同じクラスの少し腹が立つクラスメイトに怪我を負わせてしまいました。すぐに生徒指導室で体育教師に囲まれました。すぐに親に連絡され、母親は号泣、父親は仕事の途中で呼び出され、かなり怒っていてこれはしてはいいなかったと反省しました。その時に覚えていないかかもしれませんが石川先生に色々大人の相談をしていたことを昨日のこのように思ひます。本当に問題児だったと思ひます。後、他校の女子高生と清い男女交際をたくさんしていました。

なんやかんやで高校は卒業できまして専門学校に行きました。専門学校は福岡の建設専門学校というところに行きました。大阪の専門学校に本当は行きたかったのですが、両親が福岡の親戚が元警察官で保護師をしているのでなにか僕がやらなくても安心ということで無理やり福岡に行かされました。沖縄の友達が出来て頻りに泡盛の回し飲みをしていました。高校のやんちゃぶりは少し落ち着いて、勉強は真面目にしました。休まず学校に行っていたし、テストもなかなかいい点数を取っていたと思ひます。近所の空手道場に2年間真面目に通っていたので、今では見る影もありませんがムキムキな体をしていました。普通に面白くもなく、2年間福岡で過ごして卒業して香川に戻ることになりました。

就職したのはいきなり家で仕事をするのは甘えがでるので修行として父親の知り合ひの測量屋で修行させてもらうことになりました。ここでは本当に今考えても社会人として恥ずかしいぐらい無断欠勤、二日酔いで会社を休む、社長に内緒で早退する、遅刻、上司に食って掛かる、今は専務をやらせて頂ひていますが僕が上司なら絶対クビにするぐらいだめだめな社員でした。この時期に夜の街の楽しさを覚えてしまい、修行ということもあり、給料が手取り8万円のときもありました。給料日に6万飲み代で使い、友達や親にお金を借りまくっていました。本当にだめだめだったと思ひます。

測量屋を1年半ぐらい修行させてもらって本当は家の仕事をしたいと思ひていましたが、高校の同級生の会社で配電盤を溶接する仕事をしていました。さすがに20を超えていたので早退、無断欠勤はしないようになりまして20代前半で遊び盛りの為仕事より遊びで週に8回ぐらい合コンしていました。朝まで飲んで仕事に行くなど、本当によく遊んでいたと思ひます。野球はずっと好きだったので、草野球のチームに入っていました。先輩がつくっていた草野球のチームに所属していました。結構強いチームでリーグ2連覇など結構優勝するチームだったのでビールかけ等沢山面白ひことをやりました。

ついに父親と話しながら、うちの家の会社である生家建設に就職することになりました。私の父親であり社長でもあります。昔ながらの職人の人で、今でいうパワハラ、モラハラの申し子のような人です。何回も喧嘩になって煙草をぶつけたり、怒って現場から歩いて帰ったり、仕事に行きたくないと家出したり、いろんなことがありました。しかし、父親は職人としては責任感がとても強く、きっちり仕事をする人なのでそれは今でも尊敬しています。

次週のプログラム 第2493回

8月27日

卓話：SANN会員

担当者 プログラム委員長

例会場 J Rクレメントホテル高松

そんなだめだめな僕ですが人生の転機が訪れます。結婚した時です。奥さんとは先輩の夫婦の家によく遊びに行っていたときに向こうもよく来ていて知り合いました。知り合って2ヶ月ぐらいで同棲しだして7か月ぐらいで結婚しました。今までどの女性と交際しても結婚願望のなかった僕ですが、奥様の時は結婚したいなと思いました。今でも奥さん一筋です。ラブラブです。

しかし、仕事の方はだいぶマシにはなりましたが、このころは相変わらず父親任せで他人事のように仕事をしていました。全然やる気がなくてただ一日が終わればいいと思っていました。うちの父親は儲けよりいい仕事をしたらいいと思っている人だったので会社の経営状況はあまりよくなかったと思います。全く仕事にやる気のなかった僕ですが、これではいけないと思った転機は子供が生まれた瞬間です。今現在長女は小学校4年生、長男は小学校2年生なのですが、一人目の長女が生まれたときに僕の中のやる気スイッチが入りました。給料、生活も良くなかったのでこれではいけないと思い子供が生まれたときにもっと頑張らないといけないと改めて思いました。そして今まで民間メインだった会社を何とか公共事業の割合を増やしていかないといけないと得意ではないパソコンなどを人から教えてもらい、一からやってきました。

仕事があまくいけると、仕事が面白くなり、いろんなアイディアが浮かびました。そして素敵なお人との出会いも沢山ありました。すごくいい感じで会社も少しずつ良くなってきたと思います。まだまだ伸びしろがあるとは思っていますが、作業員不足が切実な悩みです。つい最近も1人従業員が入ってきたのですが半年も持たずに辞めてしまいました。まだまだ自分にも修行が足りないし、何か変えていかないといけないなと実感しました。へこたれずにもっと頑張っていきたいと思えます。

ロータリーの活動も昼間の例会に参加できないことの方が多いのですが、会社の体制を何とか変えて参加したいと思っています。少し小生意気な私ですがよろしくお願ひいたします。今日はどうもありがとうございました。

国技なので当然だなと思ったのですが、重量級のヘーシクに日本が負けました。柔道という競技で日本人が負けるのかと強く認識させられてですね、今も相撲はモンゴルの方々が横綱でいて日本人が横綱になれてないというのがありますがやはりお家芸であろうとなかろうと技術を磨いていけば他国の選手も、勝つようになりますしそれも当然ではありますが、野球も強くなってきたのですが日本のお家芸では無いと思うので、それはそういうことなのかなと思います。

今回空手がオリンピック競技に入りましたけれども、空手というのもこうやはり、国技に近いと思いますが、あのスポーツの競技人口の中で、世界で一番空手が多いという風に聞いたことがあります。ですから、空手というのは日本の国技ですが今では世界中でなされていますから今回、少々日本が有利になったとしてもやはり空手も、海外の選手がのし上がっていくのではないかと風には思います。

今回のオリンピックが57年ぶりに日本で開催されましたが、今回のオリンピックとやはり1960年のオリンピックの違いってのはどこなのかと、自分なりに考えてみましたが、競技は1960年よりも増えましたが、オリンピックの金メダルの数も当時全部で、300ぐらいだったのですが、350ぐらいに増えて、競技の幅も増えたのではないかと思います。競技人口も、開催国に来た人の数が前は5000人ぐらいでしたが、今回は倍ぐらいになっています。僕が感じたのはオリンピックを見ている中心の方々か、僕は、中学生ですから、野口さんが、その時大学生だとおっしゃっていました。まだ、その日本の中心になった人間ではないのです。ほんとにオリンピックを一生懸命みていた人たちは、僕のお父さんの世代ではないかと思えます。僕のお父さんは大正2年生まれで、明治に近いのですが、第一次世界大戦、それから日本のシナ事変から第二次世界大戦、非常に深刻な世の中で育って当然、戦争にも行って満州にも仕事で行っていたようですが、昭和20年に敗戦して教育の基本的なことが、しっかり入れ替わります。で、その中で日本が1960年、オリンピックが開けるような国にこう、頑張ってきた、戦争にもいって、負けて本当にひどい目にあった方々が沢山いらっやって、また、敗戦をした時に第二次世界大戦の時に日本の方は300万人程、亡くなっています。ですから昭和39年昭和20年の話です。まだ19年で自分の家族であろうとかお父さんである方を戦争で亡くした方々がたくさんおられて、そういう方々がオリンピックを見ていました。うちの父親がはっきりってわけではないですが、こんな平和なスポーツの祭典が日本のできるのかということをごく実感しました。親戚の人たちが話しているのを聞いたことがあります。僕らは平和な時代に育って来ているので、今、普通にスポーツ競技を争っているのは普通に見られますが、日本であれだけ大きいスポーツの祭典が出来るのはうちの父親とか、大正生まれの方々は思っていなかったと思います。戦争で負け、広島に原爆が落ち、長崎にも原爆が落ちて、また、今日は広島に原爆が落ちた日ですかね。で、恐らくその原爆で、家族を亡くした方々とか、そういうかたがたも1964年の東京オリンピックというのを見ていると思います。ああ平和になったなということ、多分噛みしめながら東京オリンピックを見ていた人たちが物凄く数がいっぱいだと思います。今2020年のオリンピックを見ている人で戦争体験をありありと思ひ浮かべる人ってほとんどいないと思いますね。石川先生など、戦中派ですから、少し思いはあるかと思いますが、あのオリンピックができる平和のありがたさというのを多分1960年のオリンピックではその時代の中心にいた人々が幸福をかみしめながら、見たオリンピックだったのではないかと思います。

今回は、全く違うコロナ渦の中でのオリンピックで我々以下の年齢の中では本当に平和な中で、育って来た方々でオリンピックを日本でやることに何の不思議もおそらく感じない当然できるだろうという風に思っている方々です。やはりスポーツ、アスリートの方々と同じように学生時代運動と親しんで平和に、ある程度豊かに、生きた方々が2020年、このオリンピックを見ているのだと思います。僕はその1964年のオリンピックと2020年、今のオリンピックとの違いは見ている人たちの気持ちの在りようが一番大きな違いではないかと感じます。平和であることのありがたさっていうのは、僕も戦争を体験していないから実際には聞かされているだけで本心では分からないのですがやはりオリンピックというものを開催して世界中のアスリート

オリンピックの思い出話



村上義憲会員

少しだけお話をさせていただきます。先週の例会の時に、加藤さん、石川先生、野口さんとお話しされて、もし時間が余っているようでしたら村上さん話してくださいと言われていたのですがこの雄弁な三人の方々なので、時間が余ることはないだろうと思

い、特に準備もしていなかったのですが、東京オリンピックの思い出話ということで、加藤さん、石川先生、野口さんが話してくださったので、ほとんど僕の思っている話も出ていたのですが、1960年のオリンピック当時、僕は13歳で中学2年生の時でした。はっきりとおぼえていて今回のオリンピックと違うのは、石川先生もおっしゃっていた通り、青空の中で自衛隊の飛行機が飛んで、五輪のマークが描かれていました。やっぱり、開会式は昼間じゃないとだめだなと思いました。今回開会式が、夜だったわけですが、スポーツの祭典の開会式はやはり開催国の昼間にやるのが、いいのではないかと思いました。全世界に放映しているわけなので放映権を持っているアメリカが意見を言うてこのようになったのだと思います。

印象に残っている中の一は、やはり東京オリンピックの前のローマオリンピックを見ているわけですが、ローマオリンピックに引き続いて、やはり最後のマラソンでアベベ選手が優勝した後にトラックに帰ってきて、非常に元気に整理体操をしている姿を見て、2、3位の選手が入ってきて倒れてしまうようなものすごい疲労感をもっているにもかかわらずアベベ選手の頑強な体というのはどこからくるのかなと思いました。やはりアフリカの過酷な国土の中で育った1人だと思ひのですが、アフリカに行ったらアベベ選手のような選手がいっぱいいて、そういう人がどんどんマラソンにきたら恐ろしいなと、日本人とか先進国の選手たちは勝てないなということをおもいました。

またあの柔道でもメダルを取るのですが、それはもう日本の

を集めて活躍できる場を設けることができるのは平和である証だと思ひますし、これはずっと世界で続けていくことが大事だと思ひます。よく考えると本当は1940年に東京オリンピックをやると一度は決まっていたが、日本が国連を脱退する間際で1940年のオリンピックを日本は返上して、1960年のオリンピックを開催できると、その戦時中に僕の親父はとてもじゃないけど思っていないかと思ひます。平和であることというのは空気みたいなもので、平和なのが当たり前というふうにも思ひて育ってきたものだからわからないですが、1964年にテレビを買ってオリンピックを見ていた我々の両親、その同世代の方は本当の平和のありがたさを感じながら見ていたのだからと思ひます。それが今のオリンピックと昔のオリンピックとの大きな違いだと思ひます。

少し今日も話すことになると思ひていたので市川崑監督の東京オリンピックという映画をもう一回見直してみました。記録映画としては本当によくできた良い映画だと思ひます。今回カンヌのグランプリで賞を取った河瀬直美という女性の監督が東京オリンピックの映画をIOCから頼まれて今作っています。オリンピック開催前から既に300時間のフィルムを撮っているようですがオリンピック開催してからの2週間で約100~150時間撮ってそれを繋いでいって約2時間から2時間半の映画にするのだと思ひます。河瀬直美監督の今回の東京オリンピックの映画、どのように撮るのか、オリンピックの開会式の朝にNHKのアナウンサーが言っていました、ものすごい意気込みでオリンピックの開会式の撮影に臨んだと聞かれていますので、是非河瀬直美監督の映画を見てみたいと思ひます。オリンピックの映画というのは今までIOCが色んな人に頼っていますがミロス・フォアマンとかアーサー・ペンとか名だたる優秀な監督に頼んでいます。今回は当然日本でありますから、河瀬直美監督に頼んでいます。今回は市川崑監督だったわけですが、恐らく河瀬直美監督が少し語っている所を見ると、反対している人たちがこれだけいるという記録も残すのではないかと思ひます。日本で意見が二つに分かれてその意見の狭間の中でアスリートも迷いのある中行われたオリンピックだったのではないかとそれを河瀬直美監督はどのように映画を作っていくのか是非出来上がった映画を見たいと思ひます。新鮮なスピーチの後にあまり面白くない話で失礼いたしました。ありがとうございました。

たのですがこれは白人にも黒人にも勝てないと思ひました。僕はバスケットボールをしていたのでバスケットボールが好きで日本の試合を見ていたのですが、報道では期待を持たせるような書き方をしていましたが日本のチームは欧米のチームに勝てる日はいつ来るのだろうと、ですが八村や渡辺もいないときの時代からみている人からすると、だいぶ日本は進んだというイメージをもっている方もいるかもしれません。

私は村上さんの高尚なお話を聞きながらサッカーの試合の結果を見ていたのですが日本はメキシコに3対1で負けています。この試合は見ていないですが、もしかすると日本が勝つのではないかと日本のマスコミの先導に乗せられて、日本とスペインの試合を最初から最後まで観ていました。この試合ももしかしたら決勝まで行ってPK戦でニュージーランドと同様に優勝するのではないかと淡い期待を抱かせるような試合ではあったもののこれもフィジカルなので体の大きさ、使い方、足の速さなどの一つ一つの動作がやはり外人とは違うなと思ひました。まだまだ日本人は追いついていないなというように感じました。ですが、テレビや新聞などでは日本は世界で頑張っていると日本は良いという書き方をしていますがそういうのを見ると昔、戦争に突っ走った日本のおおがしなくもないなというように思ひます。

日本は島国の中で小さな単一の民族で、そこでいろんな明治維新などで海外との繋がりが出来て、諸外国との差に対しての意識が強かったと思ひます。先に行っている所に追いつけ、追い越せというような感じでこのようなことは否定しているわけではないですがコンプレックスからきているものではないかと思ひます。日本のメディアが日本を煽り立てているのを見るとせっかく戦争のない平和な時代に生まれてきたのに昭和、大正時代のような日本の軍国主義のかたちで日本が躍らされるようになってはいけないなと思ひます。でもやはりスポーツに関してはフィジカルな面で日本人も体格を大きくして欧米の人間に負けないような国民づくりになっていけばいいなと漠然と思ひながらテレビを見ています。これからパラリンピックもありますし、せっかく日本で開催されているのだから日本が少しでも欧米に近づくような試合が出来ればいいなと思ひながら私の話を締めさせていただきます。

オリンピックの思い出話



小竹和夫会員

めったに例会に出ないバツということで、何も考えていなかったの思ひつくまま話したいと思ひます。

前回、石川さんをはじめベテランの方々が前回の東京オリンピックの話がされたということで僕はその時例会に参加できていなかったのですが村上さんの話を聞くとそういうことを受けて村上さんが非常に新聞の論説に載せてもいいような話で、なるほどなあと思ひながら聞いていました。

僕は高尚な話は正直思いつかないので対抗しても意味がないのでオリンピックはもう14日目になるのでしょうか。結構僕は見るのが好きです。テレビのドラマなどはあまり見ないですがニュースやスポーツに関してはよく観る方で、特に僕はゴルフをするのでゴルフ番組は特に好きです。そのようなテレビを見ている中で感じたのが、今回に限らずスポーツの番組を見ていると感ずることがあります。それは見ながらコンプレックスになることです。特に今回のオリンピックなどは世界中から人が集まり、いろんなスポーツがあります。見ている中で白人、黒人、アジア人、となるとどうもアジア人が見劣る気がします。

今日は、メダルが過去最高だと言われていますが、冷静に今日本がメダルを取った競技を分析するとフィジカルがないとは言わないですが、フィジカルそのもので勝っている所が少ないと思ひます。例えば体重差を設けてくれている競技とか、いわゆる体をすべて使っているというよりは体格の差で分ける競技においては、日本は強いが、一番いけないのが陸上だと思ひます。陸上は体そのもので100メートルをみて思っ

オリンピックの思い出話

島谷隆会員

多分指名したか分かります。村上さんと小竹さんが非常にいい話をしまして、今日の生家さんの話がとても面白かったと思ひました。これで本当に仲間になったといひますかアホを言えるなと思ひます。ありがとうございます。

うちの孫がしまして長女の2番目の孫が歯の矯正をしまして歯に金具が入っていてがんばれ高校球児！とやっているわけです。KSBの5ちゃんは何回もしてまして個人的には孫がしているのが非常にうれしくて少し長くなりますが前々回のニコニコにも入れさせてもらったのですがその前の2年前か3年前に高商が甲子園に行った時有名なチアでやりまして今は、みとという子がラジオに少し出させてもらって色々僕やうちの奥さんが非常に喜んでる所であります。高商の準決勝、決勝は僕も行きました。もう感動、感動です。野球で1点1点ひっくり返すのはもう最高です。

これは今のオリンピックで言わせていただくと明日女子のゴルフもそうですが、明日の男子、日本の侍ジャパンが活躍してくれるのではないかと期待しています。最後に長くなりましたが、がんばれ！日本！侍！ありがとうございました。

ロータリー特別月間（8月）

会員増強・新クラブ結成推進月間

(Membership and New Club Development Month)

2015年1月RI理事会は8月を重点分野：「会員増強・新クラブ結成推進月間」とした。ロータリアン、クラブ、地区が新会員の勧誘とロータリーの新クラブ結成に焦点を当てて活動する月間である。